

【ワンポイント】

- ①取付けの基本は、**○穴(係止穴)**をルームミラー背面の**ボールジョイント部(支持軸の最小径部)**に、**はめ合わせるだけです。**

このとき、ミラーの上方から差し込むか、下方から差しこむかは、お車における作業のやり易い方向から行なって下さい。

(因みに、ボールジョイント部に一旦はめ合わせた状態では、軸周りに回転させられますので、スカイバイザーの上下関係を反転させる事ができます。)

- ②次に、○穴(係止穴)をボールジョイント部に嵌め合わせた後は、スカイバイザーの**一辺(多くはスリット切り口のある側)**が**車体の天井部分に、又は、フロントガラスに当接させるだけで固定保持されます。**

なお、ベストな状態は、フロントガラスと天井との境目に当接するのが理想的な固定状態ですが、車体の天井と重なり過ぎる場合(他に支障なければそれでも良い)は、お車のデザインに合わせて収まりの良い状態になる様、余分な部分を切り取ってお使い戴くことができます。

(このとき、お車のどの部分にも当接しない場合でも、固定保持状態とはなりません、スカイバイザーが外れて落ちる様な事はありません)

以上で、乗用車のおよそ90%のお車に対応することができます。

【特殊なミラー支持軸形状の場合のワンポイント】

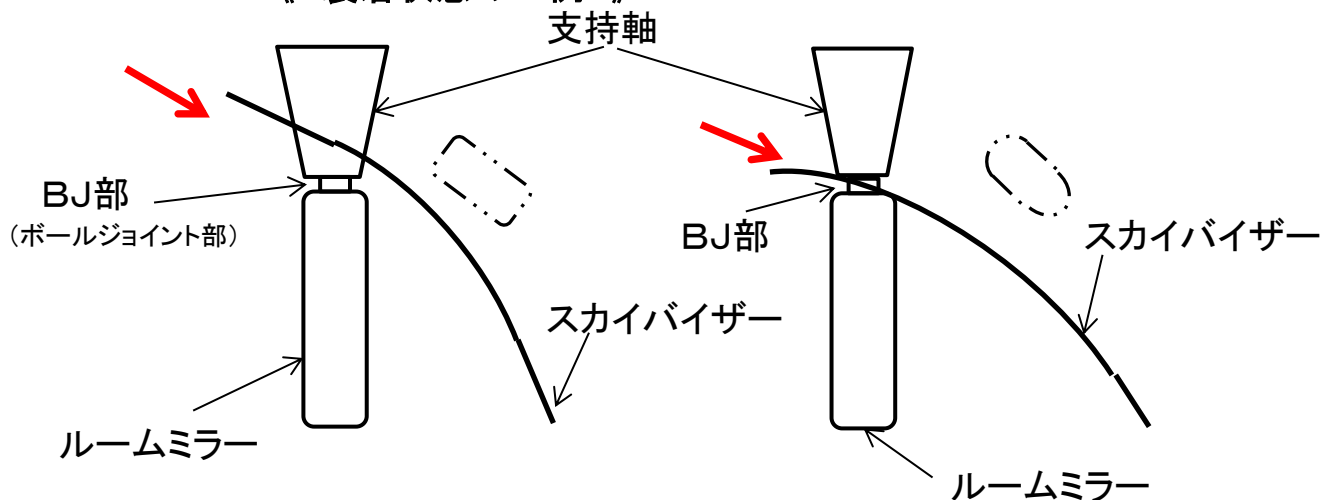
なお、お車のデザイン等によっては、○穴(係止穴)をボールジョイント部に、はめ合わせた状態において、スカイバイザーが**水平な状態**となり、お車のどの部分にも当接しない状態の場合には、**○穴をミラーの支持軸の形状に合わせて**、例えば、下記図示の様な形状に**切り取って**から、ルームミラーの上方手前から加工後の穴まで差し込んで見て下さい。

(スカイバイザーが水平状態から下図の様に斜めに垂れ下がる状態になれば、有効に夕陽等をブロックできます。固定されませんが落ちることはありません。)

《 切り取り穴形状の一例 》



《 装着状態の一例 》



【その他のワンポイント】

その他、お車のサンバイザーと干渉する様な場合には、スカイバイザーの左右幅方向の余分な部分を切り取ってお使いください。